

取扱説明書

保証書付き

保証書は裏表紙に付いています。

家庭用

日立浅井戸用ポンプ 型式

ダブリューティー ピー ワイ

〔单相〕 WT-P125Y

WT-P200Y

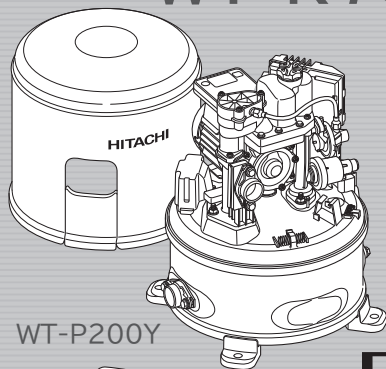
WT-P300Y

WT-P400Y

ダブリューティー ケー ワイ

〔3相〕 WT-K200Y

WT-K750Y



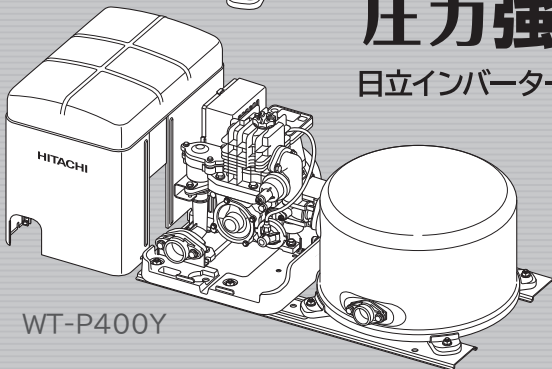
WT-P200Y

浅井戸用

つよし

圧力強くん

日立インバーターポンプ



WT-P400Y

このたびは日立ポンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.2~4)をお読みいただき、正しくご使用ください。

- 据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- ご購入のポンプの型式確認は、ポンプ本体の表示をご覧ください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部のなまえ	6
操作コントローラーのはたらき	8
操作コントローラーの表示について	8

据え付け工事について [販売店様・工事店様用]

据え付け前の確認	9
吸上高さの確認	9
押上高さの確認	10
電源の確認	10
据え付け場所の確認	10
ほかの機器との組合せについて	10
井戸の砂について	11
据え付け前のご注意	11
配管工事について	13
新規に接続の場合	13
既設の日立ポンプを取り替える場合	14
配管の施行の基礎	15
配線工事について	17
アース線の接続と漏電遮断器について	17
電源電線について	17
試運転	18
試運転のしかた	18
運転状態の確認	18
運転のしかた	19
運転モードについて	19
運転モードの切り替えかた	20
運転圧力の切り替えかた	20
角形受水槽との組み合わせについて	21
角形受水槽との接続について	21
断水リレーの接続について	21
運転圧力の切り替えについて	21
満水警報器の接続について	21
除菌器の接続について	22
結線について	22
防寒について	23
凍結防止策	23

こんなときは

お困りのときは(販売店様・工事店様用)	24
操作コントローラーにこんな表示が出たら	24
漏水を確認するときは(強制運転による漏水チェック機能)	26
圧力タンク内の水を抜くときは	26
消耗部品について	26
保証とアフターサービス	27

仕様






仕様	29
製品寸法	29

安全上のご注意

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■ここに示した注記事項は




表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

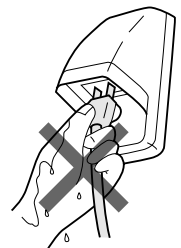
		絵表示の例
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 してはいけない「禁止」内容のものです。
		 実行していただく「指示」内容のものです。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告

電源プラグや電源電線は

-  ●単相100V用ポンプは定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
3相200V用ポンプは定格15A以上の電源ブレーカーを単独で使う
- 電源プラグを抜くときは、きちんと電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火することがあります。
- 電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふく
火災の原因になります。
-  ●お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜くか、
ブレーカーを切る
感電やけがの原因になります。
-  ●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。
- 傷んだ電源電線や電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源プラグは根元まで差し込む
感電やショートして発火することがあります。
- 電源電線を傷つけない
【傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込む・たばねるなどしない】
電源電線が破損し、発煙・発火の原因になります。
- テーブルタップによるタコ足配線はしない
発煙・発火の原因になります。
- 延長コードは使用しない
過熱し、発煙・発火の恐れがあります。
- 子どもだけで使わせない
- 電源プラグ、電源コードを水につけたり、水をかけたりしない
- 電源プラグを水につけた場合は使用しない
漏電や感電、故障の原因になります。



警告

配線・アース線は



配線工事は電気設備技術基準や、内線規程に従って、安全に行う

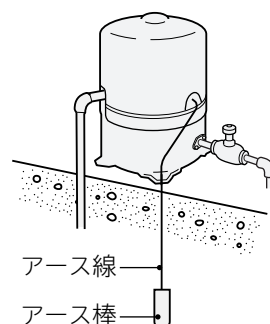
誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



アース線を取り付け、専用の漏電遮断器を設置する

アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。

アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。



そのほか



ポンプを水道管に直接配管しない

この取扱説明書のポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。



動かなくなったり、煙が出ている、変なおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切って、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する

感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。



分解したり、修理・改造しない

火災・感電・けがの原因になります。(修理は販売店などにご相談ください)



●ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプ内部に物を入れない

過熱による発煙・発火の原因になります。

●ポンプカバーを外したまま使用しない

雨やほこりにより絶縁劣化して、感電や火災の恐れがあります。

※ポンプカバーを取り付ける際は、電源電線およびアース線を挟み込んで傷つけないように注意してください。

●製品が包装されているビニール袋をかぶらない

窒息の恐れがあります。

本体の近くには



●引火物の近くには設置しない〔ガスボンベ・灯油・ガソリントankなど〕

爆発や火災の恐れがあります。

●可燃物の上には設置しない〔木材・段ボールなど〕

火災の恐れがあります。

●ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近付けない

火災の恐れがあります。

●ポンプ本体には、磁石などの磁気を帯びたものを近付けない

誤動作することがあります。

安全上のご注意 (続き)

⚠ 注意

運転前後、運転中は

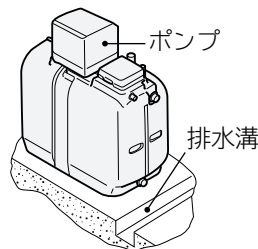
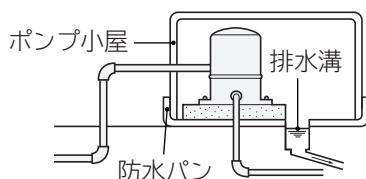


- **モーター、コントローラーに触れない**
高温になっていますので、やけどの原因になります。
- **空運転(水源に水のない状態での運転)はしない**
ポンプ内の水が熱湯になり、やけど、故障の原因になります。
- **コンセントを抜いた状態でも、操作コントローラーの表示が消えるまでコントローラーには触れない**
感電の原因になります。

そのほか



- **ポンプの上に物を載せたり、人が乗ったりしない**
変形、脱落により、けがをする恐れがあります。
- **防水処理、排水処理されていない床面に設置しない**
水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。
※ポンプの寿命などで水漏れを起こした場合、発見が遅れると周囲が水浸しになり、大きな補償問題になる場合があります。



- **清水以外の液体や温水(40℃以上)には使用しない**
破損により、けがや感電の恐れがあります。
- **標高の高い場所には設置しない**
揚水量低下の恐れがあります。
- **発電機での電源供給や、車両・船舶での使用、また延長コードでの使用はしない**
電力が安定せず、正常なポンプの運転ができません。
- **他社の除菌器は結線、接続しない**
ポンプコントローラー故障の原因になります。
- **汎用インバータと接続しない**
故障の原因になります。



- **製品の取り扱い時は、手袋をして作業を行う**
けが防止のためです。
- **据え付けは、お買い上げの販売店、または専門業者に依頼する**
ご自分で据え付け工事をされ、不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- **飲用水として使用する場合は、水質検査を実施する**
飲用水として使用する場合は、保健所の指示に基づき水質検査を実施してください。
水質によっては健康を損なう原因となります。
- **本体を運搬するときは、本体底面を持って2人以上で運ぶ**
けが防止のためです。
- **コントローラーや圧力センサーなどをつかんだり、本体を引きずって運ばない**
故障の原因になります。

使用上のご注意

■運転中は電源プラグを抜かない

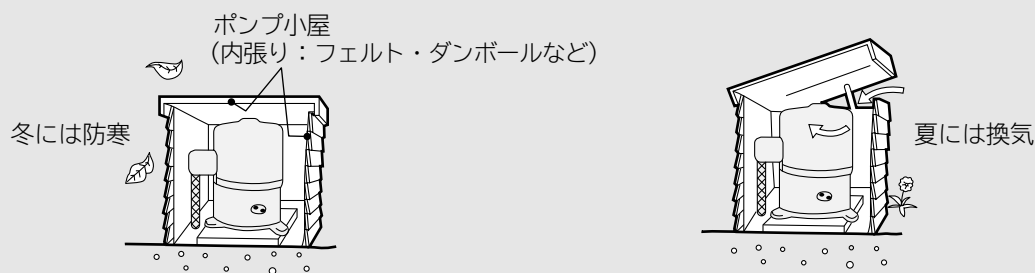
故障の原因になります。操作コントローラーの **停止自動** を押し、表示部が **OFF** になっていることを確認してから電源プラグを抜く、またはブレーカーを切ってください。

■テレビやラジオなどの電子機器を近付けない

テレビ画面の乱れや、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■冬期には凍結防止策を行う

凍結による破損事故については責任を負えません。凍結防止対策を行ってください。→(P.23)



■水を使用しない期間が長かった場合は、しばらく通水し、水がきれいになってから使用する

■配管の凍結防止を目的として、水栓から少量の水を流し続けることはしない

少量の水を流し続けると、ポンプの運転・停止がひん繁になり、寿命を縮める原因になります。

■ポンプが凍結した場合は、点検・修理を依頼する→(P.23)

ポンプが動作しない・停止しない場合があります。

また、ポンプ内部が破損・故障している恐れがあります。

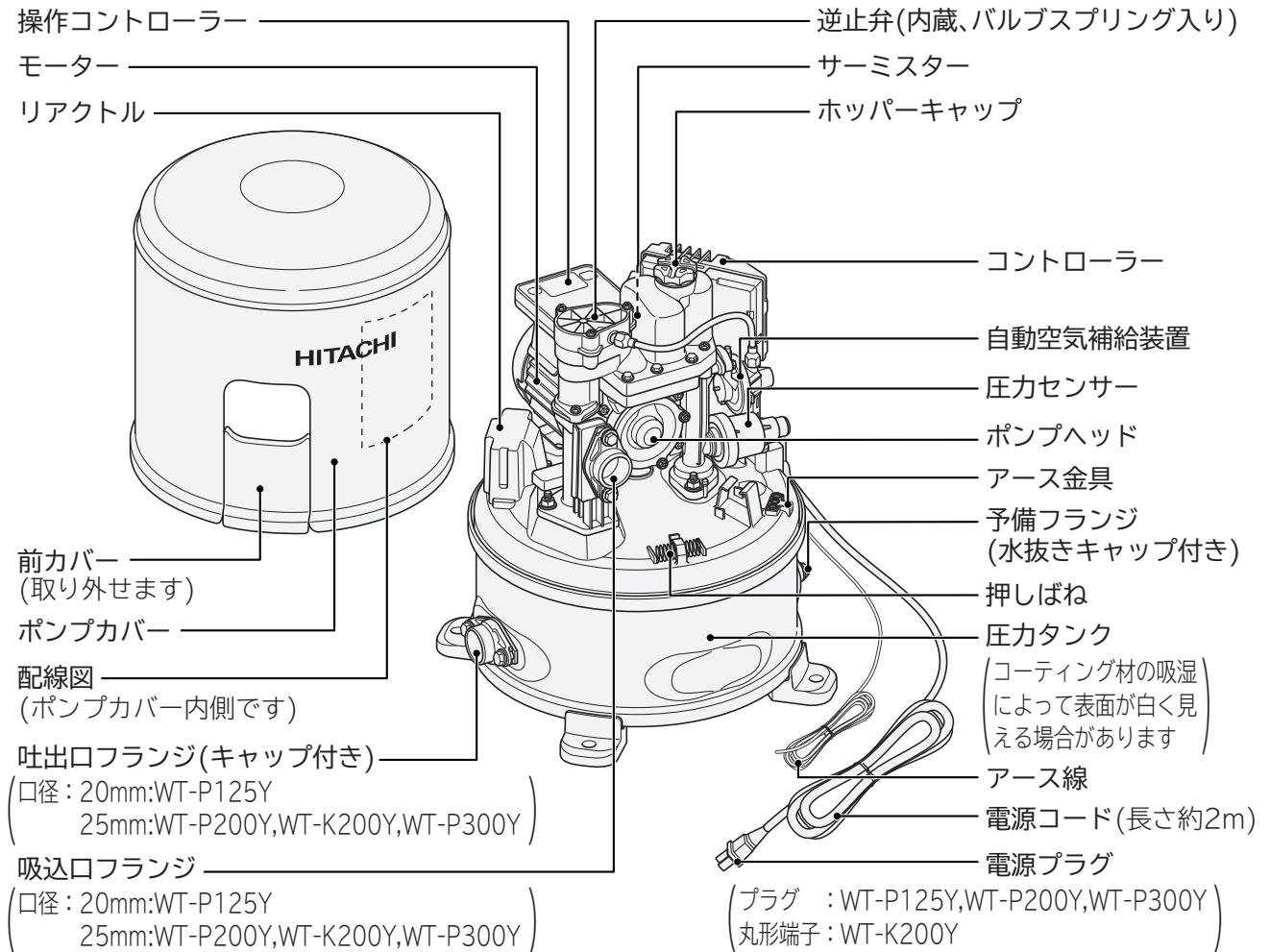
■長期間使用しない場合でも電源プラグをコンセントから抜いたり、電源ブレーカーを切らない

ポンプの凍結防止運転→(P.23)が作動せず、ポンプヘッドが凍結し、破損する恐れがあります。

各部のなまえ

製品は検査の上お届けしておりますが、輸送中の振動などで破損や付属品の脱落などがある場合がありますので、念のため確認してください。

WT-P125Y・WT-P200Y・WT-K200Y・WT-P300Y



図はWT-P200Yです。

付属品 (取り付けかたは[据え付け工事について]の項を参照ください)

押しばね(線径:太)

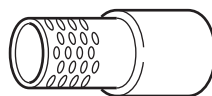
吸上高さが3mより浅いとき、または押し込揚程のときは、逆止弁の中にあるバルブスプリング(線径:細)と入れ換えます。
 →(P.11)



[取り外したバルブスプリング(線径:細)は大切に保管してください。
 井戸水位が下がるなど、吸上高さが3mより深くなる場合は、再度バルブスプリング(線径:細)に入れ換えてください]

ストレーナー

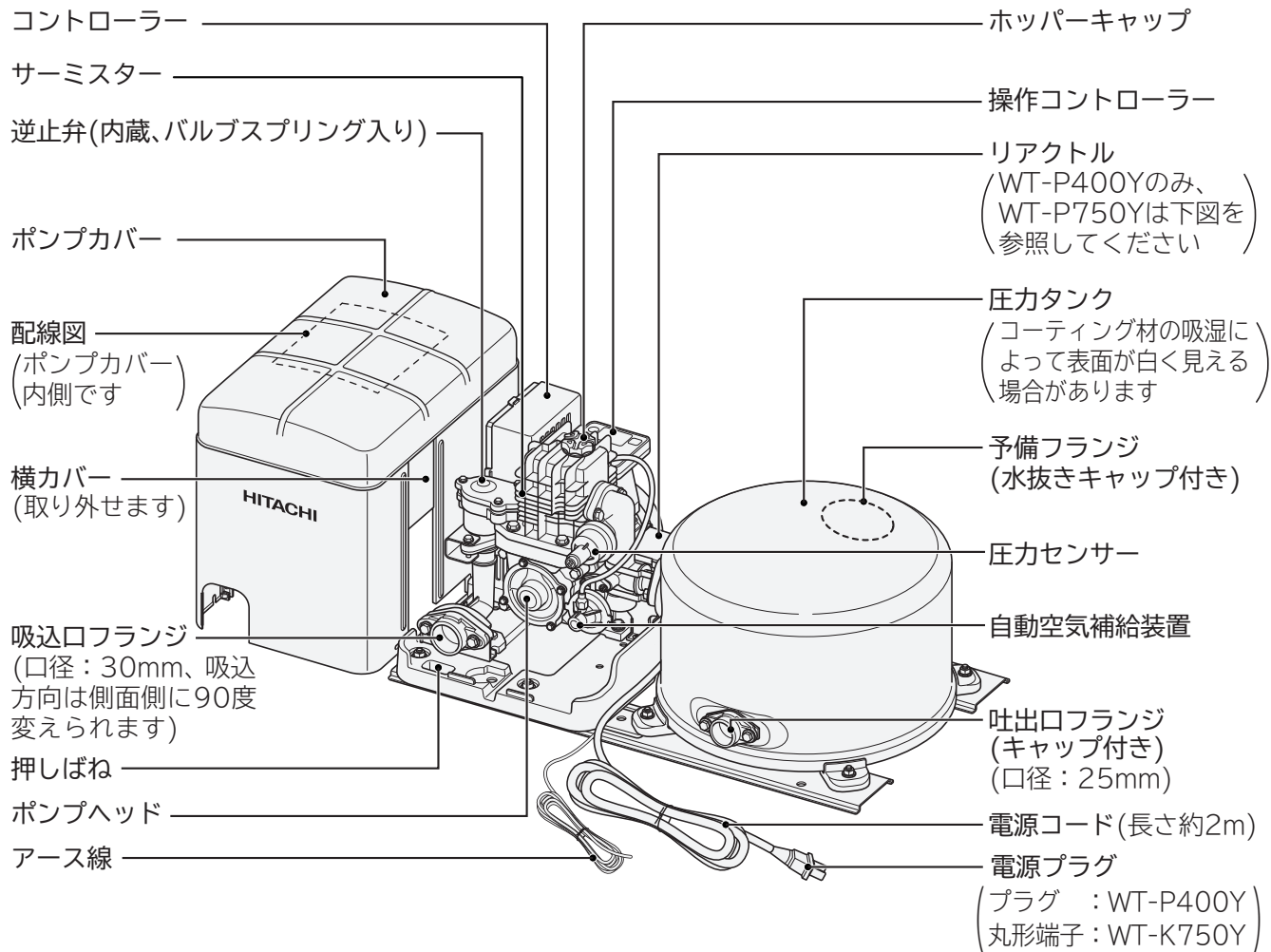
吸込管の先端に接続します。
 →(P.9)



ご注意

フランジにはあらかじめキャップが付いていますので、設置時に外してください。
 また、キャップを取り外したときに、通水試験の残水がフランジより出ることがあります。

WT-P400Y・WT-K750Y



図はWT-P400Yです。

付属品 (取り付けかたは[据え付け工事について]の項を参照ください)

押しばね(線径：太)

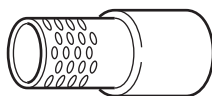
吸上高さが3mより浅いとき、
 または押し揚程のときは、逆止
 弁の中にあるバルブスプリング
 (線径：細)と入れ換えます。
 →(P.11)



〔取り外したバルブスプリング
 (線径：細)は大切に保管してく
 ださい。
 井戸水位が下がるなど、吸上
 高さが3mより深くなる場合は、
 再度バルブスプリング(線径：細)
 に入れ換えてください〕

ストレーナー

吸込管の先端に接続します。
 →(P.9)

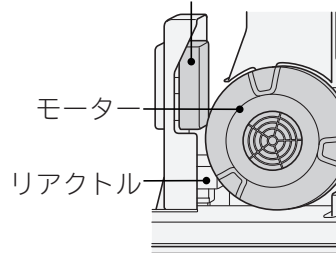


ご注意

フランジにはあらかじめキャップが付いて
 いますので、設置時に外してください。
 また、キャップを取り外したときに、通水
 試験の残水がフランジより出ることがあり
 ます。

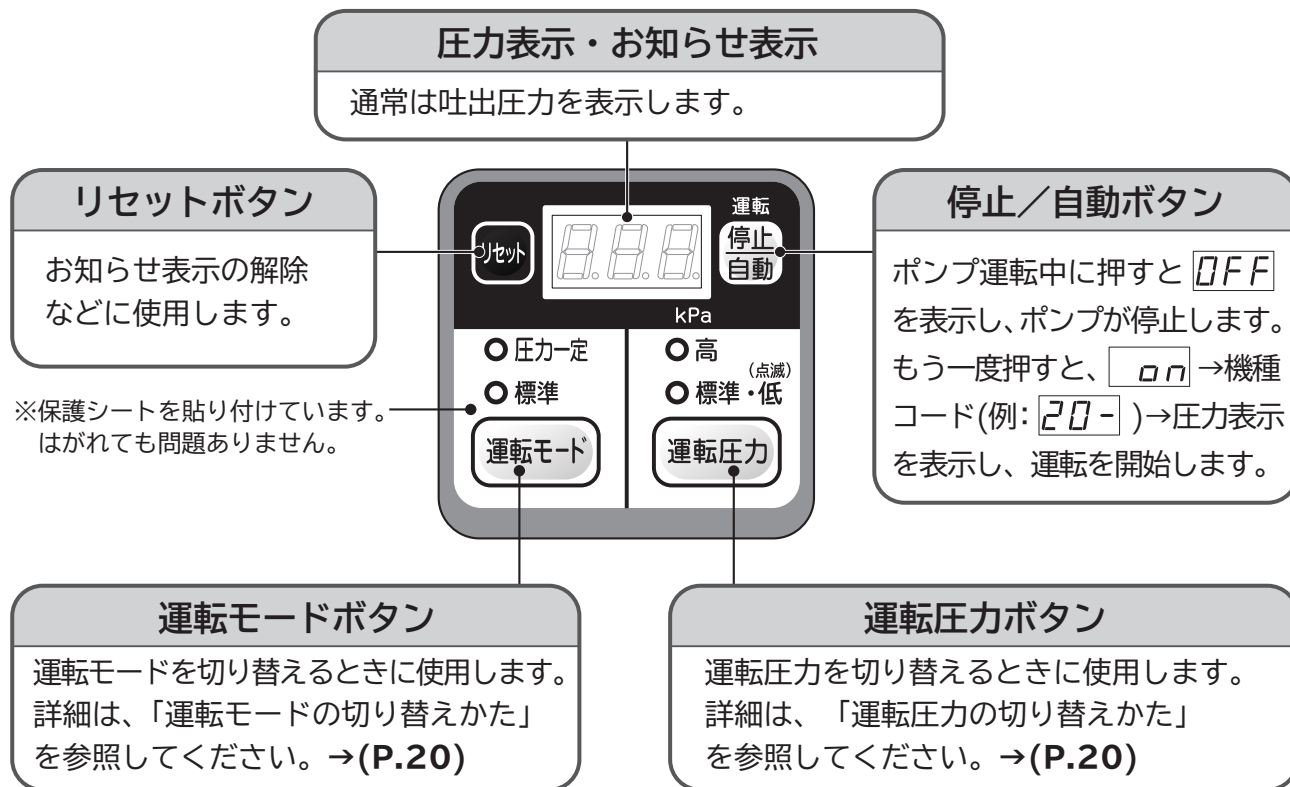
WT-K750Yの場合

3相ポンプ用サブコントローラー



各部のなまえ (続き)

操作コントローラーのはたらき



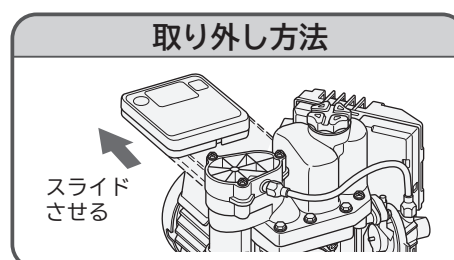
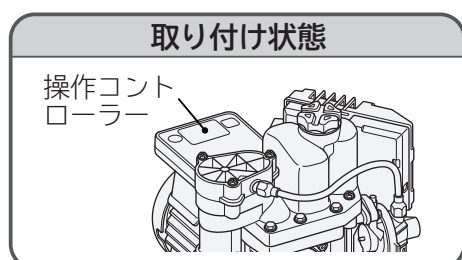
操作コントローラーの表示について

運転中の表示

表示		内容
運転中	点灯時 (常時点灯) [例] 240.	ポンプの吐出圧力を表示します。例えば 240. のときは240kPaです。モーターが回転している状態です。(右下にドット「.」表示あり)
停止中	点灯時 [例] 190	ポンプの吐出圧力を表示します。例えば 190 のときは190kPaです。モーターが停止している状態です。約3分後に消灯します。
	消灯時 [例] . . . ※停止から3分後	ポンプの電源が入っており、モーターが停止している状態です。 運転モード または 運転圧力 を押すと、吐出圧力表示に戻ります。

操作コントローラーの取り付け・取り外しについて

操作しにくいときは、取り外してご使用ください。



据え付け工事について

(販売店様・工事店様用)

【工事をされる方へのお願い】

- 据え付けは専門工事が必要です。
販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- 製品機能が十分発揮できるように、この「据え付け工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 据え付け後は試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

据え付け前の確認

吸上高さの確認

吸上高さは、以下の手順で水位(ポンプ中心から水面まで)と吸込管の全長から算出してください。
吸上高さが仕様を超えた場合、ポンプが停止しません。

1 水位の確認

運転中の水位変化、渇水期の水位低下を考慮し、
ポンプの中心から水面までの高さを確認してください。

2 吸込管全長の確認

吸込管全長を確認してください。
吸込管全長は吸込管先端からポンプまでです。

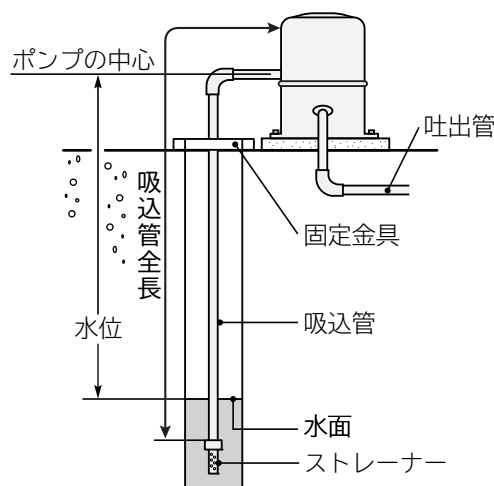
3 吸上高さの算出

水位と吸込管全長から吸上高さを算出してください。

吸上高さの算出式

$$\text{水位} + (\text{吸込管全長} \times 0.1) = \text{吸上高さ}$$

【例】水位が5m、吸込管全長が10mのときの吸上高さ
 $5[\text{m}] + (10[\text{m}] \times 0.1) = 6[\text{m}]$



4 吸上高さの確認

算出した吸上高さが、下表の仕様であることを確認してください。
吸上高さはポンプ型式によって異なりますので、下表により確認してください。

ポンプ型式	吸上高さ
WT-P125Y、WT-P200Y、WT-P400Y、WT-K200Y	8mまで
WT-P300Y、WT-K750Y	7mまで

ご注意

- フランジ口径はポンプ型式によって異なります。→(P.31)
- フランジ口径より細い配管を吸込管として使用した場合、ポンプが停止しない場合があります。

据え付け前の確認 (続き)

押上高さの確認

押上高さは、以下の手順で水栓高さ(ポンプ中心から水栓まで)と吐出管の全長から算出してください。押上高さが仕様を超えた場合、水栓から水が出ません。押上高さはポンプ型式および運転モード、運転圧力によって異なります。→(P.31)

1 水栓高さの確認

ポンプの中心から水栓までの高さを確認してください。

2 吐出管全長の確認

吐出管全長を確認してください。

吐出管全長は吐出管先端からポンプまでです。

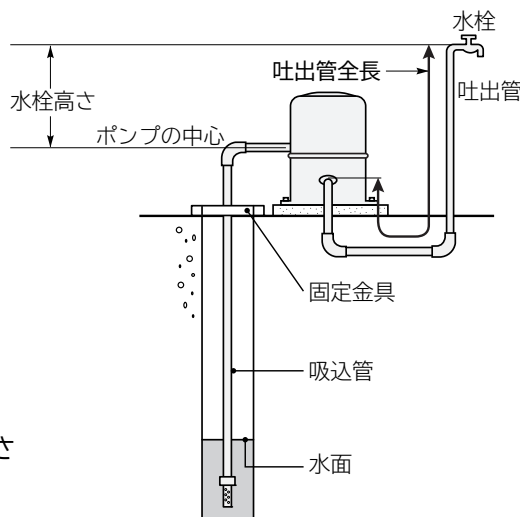
3 押上高さの確認

水栓高さとして吐出管全長から押上高さを算出してください。

押上高さの算出式

$$\text{水栓高さ} + (\text{吐出管全長} \times 0.1) = \text{押上高さ}$$

【例】水栓高さが3m、吐出管全長が20mのときの押上高さ
 $3[m] + (20[m] \times 0.1) = 5[m]$



4 ポンプ型式の確認

算出した押上高さが、仕様に合っていることを確認してください。→(P.31)

水栓が複数あるときは、それぞれの配管で算出し、最も高くなる押上高さで判断してください。

ご注意

- フランジ口径はポンプ型式によって異なります。→(P.31)
- フランジ口径より細い配管を吐出管として使用した場合、配管抵抗により水栓から水が出ない場合があります。

電源の確認

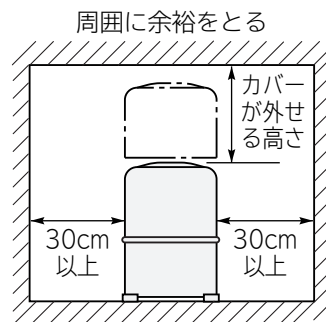
ポンプ型式によって相・電源電圧が異なります。

下表により確認してください。

ポンプ型式	相・電源電圧
WT-P125Y、WT-P200Y、WT-P300Y、WT-P400Y	単相・100V
WT-K200Y、WT-K750Y	3相・200V

据え付け場所の確認

- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。
- ポンプは出来るだけ井戸の近くに取り付けてください。
- 水平な場所に据え付けてください。凹凸のある場所や傾いた場所に据え付けた場合、振動や騒音が大きくなる場合があります。
- ガス類や引火物の近くには据え付けしないでください。火災の恐れがあります。
- 可燃物(木材や段ボールなど)の上には設置しないでください。火災の恐れがあります。



ほかの機器との組み合わせについて

- 除鉄・除菌システム、除菌器および浄水器と組み合わせる場合は、各器の耐水圧仕様を確認してください。ポンプの停止圧が耐水圧を超える場合は、減圧弁(市販品)を使用し、組み合わせる機器に過大圧力が加わらないようにしてください。

井戸の砂について

- 新しく井戸を掘られた場合は、あらかじめ井戸の砂を十分に取除いてから配管してください。
- 砂が多い場合は、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。→(P.12)

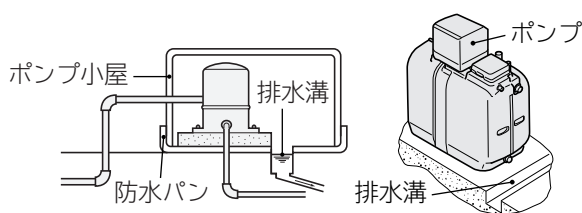
据え付け前のご注意

⚠ 注意



防水処理・排水処理されていない床面に設置しない
水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
防水パンなどで、吹き出した水が排水できるようにしてください。

※ポンプ小屋は風通しがよい構造にしてください。
※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。



■できるだけ風雨や直射日光が当たらないところに据え付ける

ポンプを長持ちさせるため、屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。

■水平に設置し、動かないようアンカーボルトで固定する

基礎は沈下を防ぐために、コンクリートで作ることをおすすめします。

■吸込管を共有した2台以上の並列接続はしない

揚水量の減少や、ポンプが正常に動作しなくなる場合があります。

■ポンプの直列接続はしない

ポンプ内に過大圧力が加わり、故障する恐れがあります。

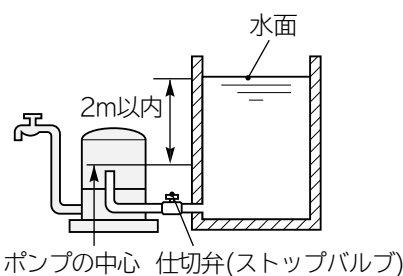
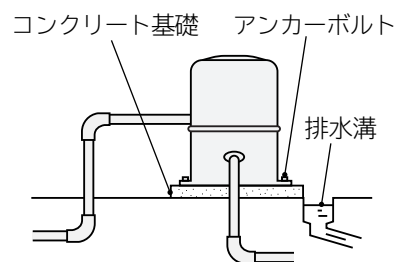
■水面がポンプヘッドより高くなる時(押し込揚程のとき)は、2m以内にする

●2m以上になるとウォーターハンマー現象(水撃作用)などにより、ポンプの部品が破損したり、漏水する恐れがあります。

●吸込口の近くに仕切弁(ストップバルブ)を取り付けてください。点検・修理の際に必要です。

■吸上高さが3mより浅いとき、または押し込揚程のときは、逆止弁の中にあるバルブスプリング(線径：細)を付属品の押しばね(線径：太)と入れ換える

自動空気補給装置および逆止弁の動きを安定させます。

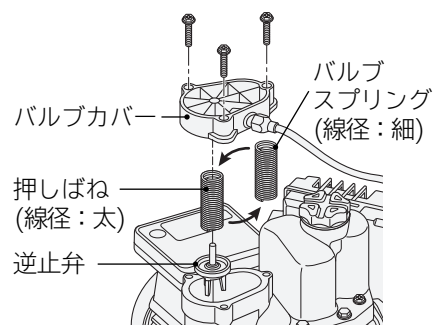


ご注意

- 押しばねの抵抗により揚水量が減少しますが、異常ではありません。
- 取り外したバルブスプリング(線径：細)は大切に保管してください。井戸水位が下がるなど、吸上高さが3mより深くなる場合は、再度バルブスプリング(線径：太)に入れ換えてください。

■市販の給水機器との組み合わせについて

- フラッシュバルブなど一度に大量の水を使用する機器と組み合わせると、水が途切れる場合があるので使用は避けてください。
- ボイラーへの給水は、減圧弁を使用してボイラーに過大圧力が加わらないようにしてください。



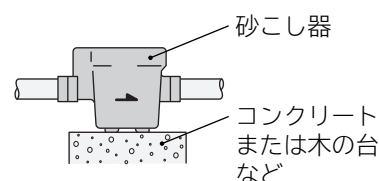
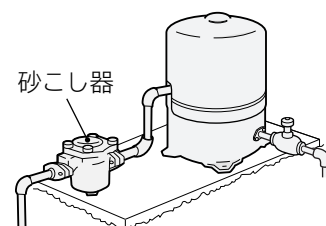
ご注意

ポンプ運転圧力は、「仕様」→(P.31)を参照してください。

据え付け前の確認 (続き)

■砂を吸い上げやすい井戸には、別売りの「砂こし器」を取り付ける

- 砂こし器はポンプの吸込側に取り付けてください。
吐出側に取り付けると、砂こし器が水圧に耐えられず、水漏れする恐れがあります。
- ポンプヘッド部の砂かみや摩耗を防ぎます。
- 砂こし器の質量が配管にかからないよう、砂こし器はコンクリートまたは木の台などにのせてください。
配管重量がかかると、管の継ぎ目にすき間ができて空気を吸い込み、揚水しないことがあります。



砂こし器	配管口径	材質	積算見積価格
GF-25X	25mm	砲金	30,800円(税込) 28,000円(税別)
GF-C25X	25mm	鋳鉄	20,900円(税込) 19,000円(税別)
GF-30X	30mm	砲金	31,900円(税込) 29,000円(税別)
GF-C30X	30mm	鋳鉄	22,000円(税込) 20,000円(税別)

上記積算見積価格は事業者様向けのものであり、一般消費者様向けの販売価格を示したものではありません。
小売りの価格については、取扱店にお問い合わせください。

ご注意 WT-P125Yを砂こし器と組み合わせて使用する場合は、あらかじめ異径のブッシング(市販品)を別途準備してください。

配管工事について



新規に接続の場合

1 準備するもの

市販の配管、継手、仕切弁(ストップバルブ)などを準備してください。

配管は水道用硬質塩化ビニル管を使用してください。

配管重量がポンプに加わらないよう、別売りの固定金具を準備してください。

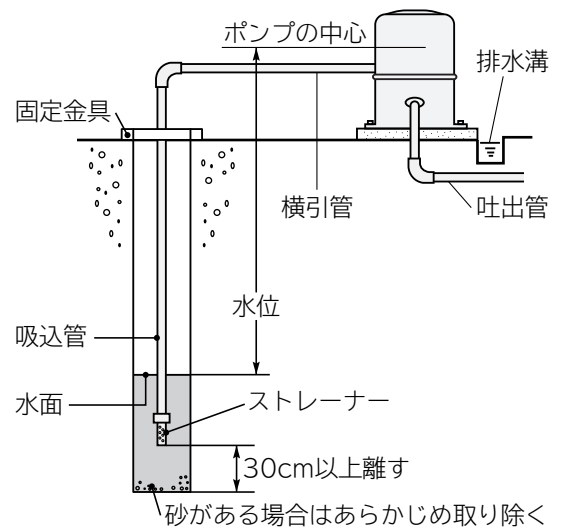
ポンプ	部品名	部品番号	使用数量	QRコード
WT-P125Y	コテイカナグブクミ	J15-7X 006	1	
WT-P200Y、WT-P300Y、WT-K200Y、 WT-P400Y、WT-K750Y	コテイカナグブクミ	J25-7X 006	1	

2 吸込管の接続

- (1) ポンプ内に異物が混入しないように、付属のストレーナーを取り付ける
- (2) 吸込管先端を井戸底から30cm以上離して、ポンプの吸込口フランジにバルブソケットで接続する
- (3) 固定金具(別売り)を取り付ける

3 吐出管の接続

- (1) 圧力タンクの接続しやすい位置のフランジに、バルブソケットで吐出管を接続する
- (2) 吐出口の位置を変えるときは、圧力タンク部の吐出フランジ、予備フランジをボルトとともに位置を交換する
- (3) 吐出口には仕切弁(ストップバルブ)を取り付ける



配管工事の際のお願い

警告



ポンプを水道管に直接配管しない

この取扱説明書のポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。

- 別売りの配管用固定金具を用いて、配管重量がポンプに加わらないようにする
- 配管の継ぎ目は空気の吸い込みや水漏れがないように行う
性能低下の原因になります。
- 配管工事の際、配管の中に切りくず・小石・接着剤などが入らないようにする
ポンプの羽根車や逆止弁に異物がつまり、揚水不能の原因になります。
- 水の抵抗を少なくするため、配管はできるだけ短く、曲げる個所を少なくする
性能低下、揚水不能の原因になります。
- 過大な力でねじ・ボルト類を締め付けない
破損の原因になります。

配管工事について (続き)


既設の日立ポンプを取り替える場合

WT-P125Y

現在お使いのポンプのシリーズ名(型式末尾のアルファベット)によってサービス部品が必要になる場合があります。

現在お使いのポンプのシリーズ名と必要なサービス部品をご確認ください。

部品の詳細はサービス部品の説明書、価格はQRコードを読み込んでご確認ください。

シリーズ名	吸込側		吐出側	
	必要なサービス部品	配管	必要なサービス部品	配管
X・W・V・S型	なし	変更なし	なし	変更なし
J・H型	なし	フランジをしめ込む方向に約30°回転させる	なし	変更なし
F型以前	スパーサ(M) ブクミ WT-P80H 005 	ポンプ付属のフランジと交換する	なし	変更なし



配管は消耗品です。吸込管が古い場合は、吸込管の交換をおすすめします。

WT-P200Y、WT-P300Y、WT-K200Y

現在お使いのポンプのシリーズ名(型式末尾のアルファベット)によってサービス部品が必要になる場合があります。

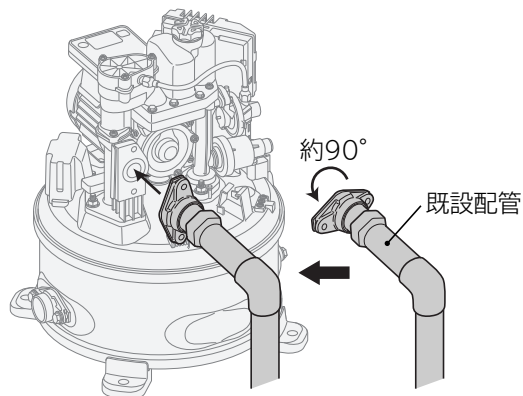
現在お使いのポンプのシリーズ名と必要なサービス部品をご確認ください。

部品の詳細はサービス部品の説明書、価格はQRコードを読み込んでご確認ください。

シリーズ名	吸込側		吐出側	
	必要なサービス部品	配管	必要なサービス部品	配管
X・W・V・S型	なし	変更なし	なし	変更なし
J・H型	なし	フランジをしめ込む方向に約90°回転させる	なし	変更なし
F型以前	スパーサ(L) ブクミ WT-P200H 005 	フランジをしめ込む方向に約90°回転させる	スパーサブクミ WT-P200G 004 	変更なし

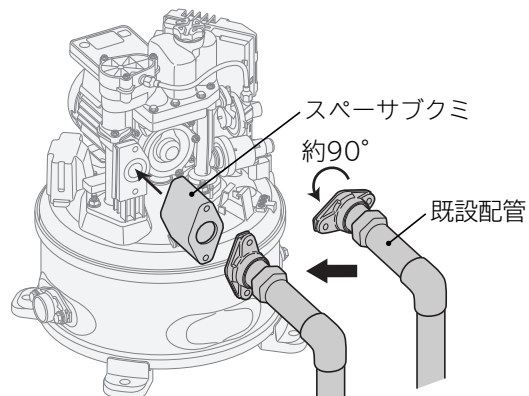
配管は消耗品です。吸込管が古い場合は、吸込管の交換をおすすめします。

取り付け例：J・H形と交換するとき



[WT-P200Yのとき]

取り付け例：F形以前と交換するとき



[WT-P200Yのとき]

WT-P400Y、WT-K750Y

従来のポンプ(X型以前)との互換性があるので、既設配管のまま接続できます。

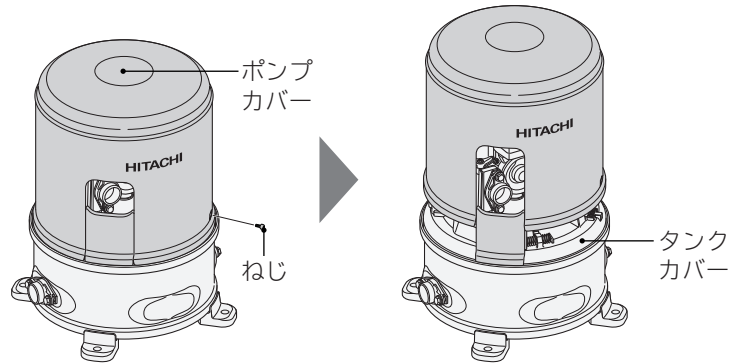
吸込管が古い場合は、吸込管の交換をおすすめします。

配管の施行の基礎

ポンプカバーの取り外し・取り付けかた(WT-P125Y・WT-P200Y・WT-P300Y・WT-K200Y)

ポンプカバーの取り外しかた

- 1 プラスドライバーでポンプカバーにあるねじを取り外してください。
- 2 ポンプカバーを取り外してください。



ポンプカバーの取り付けかた

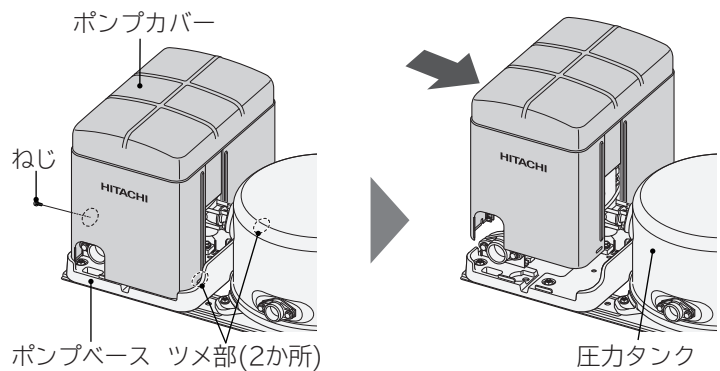
- 1 ポンプカバーをタンクカバーの溝にはまるように被せてください。
- 2 プラスドライバーでポンプカバーにねじを取り付けてください。

ポンプカバーの取り外し・取り付けかた(WT-P400Y・WT-K750Y)

ポンプカバーの取り外しかた

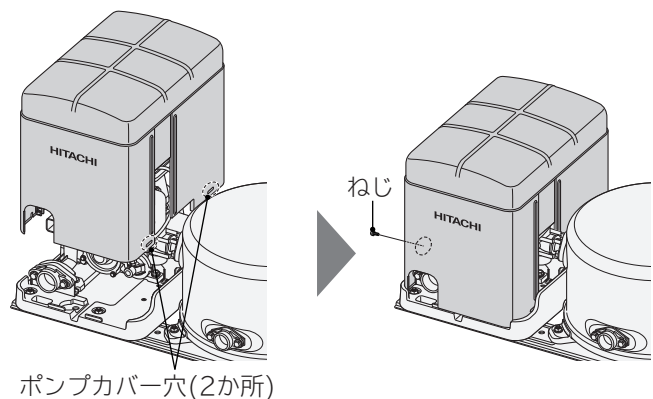
ポンプカバーはあらかじめポンプベースのツメ部(2か所)によって固定されています。

- 1 プラスドライバーでポンプカバーにあるねじを取り外してください。
- 2 ポンプカバー上部側面(右図参照)を圧力タンク側横方向に押し込み、ポンプベースのツメ部(2か所)からポンプカバーを外してください。
- 3 ポンプカバーを上引き抜き、取り外してください。



ポンプカバーの取り付けかた

- 1 ポンプカバー穴(2か所)にポンプベースのツメ部(2か所)を差し込んでください。
- 2 ポンプカバーをポンプベースのツメ内側にはまるように被せてください。
- 3 プラスドライバーでポンプカバーにねじを取り付けてください。



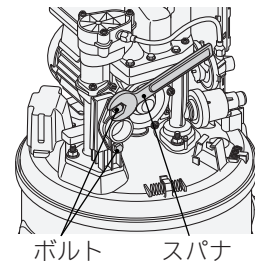
配管工事について (続き)

配管の施行の基礎

フランジの取り外し・取り付けかた

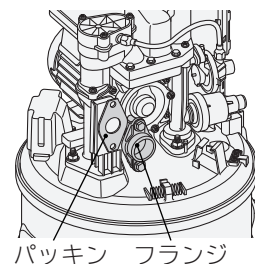
フランジの取り外しかた

- 1 13mmのスパナでフランジにあるボルトを取り外してください。
- 2 フランジおよびパッキンを取り外してください。



フランジの取り付けかた

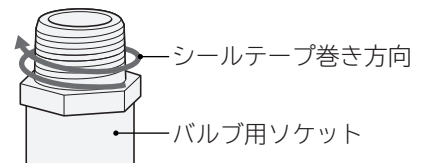
- 1 フランジおよびパッキンにある穴にボルトを通し、ポンプ本体にボルトを仮締めしてください。
- 2 13mmのスパナでフランジにあるボルトを締めてください。



フランジとバルブソケットの接続方法

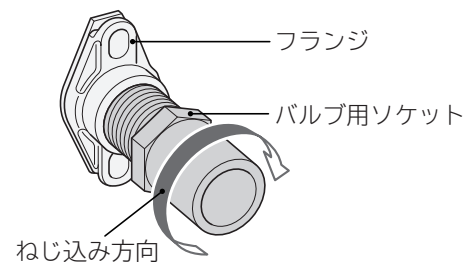
1 シールテープの巻き方

水漏れや空気吸い込み防止のため、市販のバルブ用ソケットにシールテープを十分に巻いてください。シールテープは、バルブ用ソケットのねじと逆方向に巻いてください。



2 バルブ用ソケットにフランジを取り付ける

フランジを本体から取り外し、フランジにバルブ用ソケット取り付けてください。本体にフランジを取り付けたままバルブ用ソケットを取り付けると、破損の原因になります。取り付けの際には、パイプ用レンチなどを用いて十分にねじ込んでください。



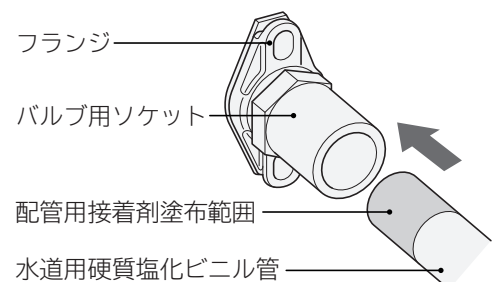
水道用硬質塩化ビニル管の接着方法

1 配管用接着剤を塗布する

市販の水道用硬質塩化ビニル管に接着剤を塗布します。

2 配管と継手を接続する

水道用硬質塩化ビニル管を継手(バルブ用ソケットやエルボなど)に差し込んでください。



- ご注意**
- 水道用硬質塩化ビニル管は継手に差し込んだまま60秒以上保持してください。配管用接着剤が硬化する前に手を離すと、抜けてしまう場合があります。
 - 通水は、配管用接着剤が硬化してから行ってください。硬化する前に通水すると、ポンプが配管用接着剤を吸い込み、ポンプ内(羽根車や逆止弁など)につまり、揚水不能の原因になります。

配線工事について

⚠ 警告

- ❗ 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全に行う
誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。
- 🚫 テーブルタップによるタコ足配線はしない
発煙・発火の原因になります。
- ❗ 単相100V用ポンプは定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
3相200V用ポンプは定格15A以上の電源ブレーカーを単独で使う

- ほかの電子機器などへ悪影響を与えないため、ポンプ専用の配線にしてください。
- 同一分岐回路に照明器具がありますと、ポンプの起動時に照明器具がちらつくことがあります。
- 本製品はマイコンにて制御していますので、運転時の電圧が定格電圧の±10%以内になるようにしてください。
(単相100V用ポンプ：90～110V、3相200V用ポンプ：180～220V)

アース線の接続と漏電遮断器について

⚠ 警告

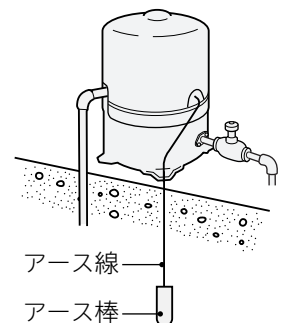
- 🔌 アースを取り付け、専用の漏電遮断器を設置する
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

- 漏電したときの感電事故を防ぐため、アース線を取り付けてください。
- アースおよび漏電遮断器に関する工事は、電気工事士による専門工事が必要です。
- 工事の際は、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切った状態で接続してください。

アース線の接続について

D種接地工事(第3種接地工事)をしてください。
既設のアース線があるときは、D種接地(第3種接地)を満足していることを確認してから接地してください。

ご注意 法令などで禁止されているため、次のようなところには、アース線を接続しないでください。
ガス管、電話線、避雷針、水道管(水栓)



漏電遮断器について

- 漏電遮断器は⚡マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で、定格電流以上のものを電路に取り付けてください。
- 既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。

電源電線について

- WT-P125Y、WT-P200Y、WT-P300Y、WT-P400Yのとき
電源は専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んで単独で使用してください。
また、屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。
- WT-K200Y、WT-K750Yのとき
電源は専用のブレーカーを設け、ブレーカーの端子部に接続し、単独で使用してください。

試運転

試運転のしかた

- 1 ホッパーキャップを外し、呼び水を十分に入れる
(300W以下:約230mL、400W以上:約800mL)

押込揚程のときは、水源から急激に流れ込む場合がありますのでご注意ください。

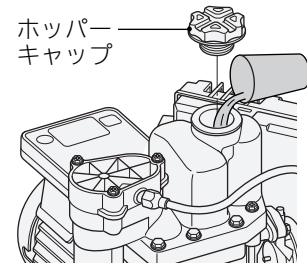
- 2 ホッパーキャップをしっかりねじ込む

- 3 吐出側の水栓を1か所開く

- 4 電源プラグをコンセントに差し込む

ON →機種コード (例: 20 -) →圧力が表示され、ポンプが運転を開始します。

- モーター、コントローラー、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。



イラストはWT-P200Y

- 吸上高さが高い場合や、吸込管が長い場合は、自吸するまで時間がかかります。自吸しない場合は、ポンプの電源を切り、再度呼び水を入れる作業(2~3分ごとに1回を目安)を繰り返してください。

ご注意 ●ポンプに呼び水をしないうちに運転しないでください。
ポンプが空運転し、故障の原因になります。

●電源プラグをコンセントに差し込む、または電源ブレーカーに接続すると、ポンプは自動的に運転しますので注意してください。

●自吸中(※1)はポンプの傷みを防ぐため、低速で運転することがあります。
自吸完了後は圧力が上昇し、通常運転に戻ります。

※1 自吸とは、ポンプを据え付けて呼び水を入れてから運転した際に、水を吸い上げると同時に吸込管内の空気を排気することです。

運転状態の確認

- 1 水栓を開いてポンプが運転することを確認する

- 2 水栓を閉じてポンプが停止することを確認する

ポンプの起動頻度を抑えるため、水栓を閉じた状態でもタイマーが働き、しばらく運転しますが、異常ではありません。

- 3 ポンプ本体や配管から漏水がないか確認する

- 4 ポンプカバーをかぶせてねじ止めする

ご注意 冬期など寒い時期には水栓を閉じたあと、凍結防止運転(PH)を開始する場合がありますが、異常ではありません。→(P.23)
水栓を開いて、水を使用すると通常運転に戻ります。

運転のしかた

運転モードについて

工場出荷時は、運転モードを「標準」に設定しています。
 また、必要に応じて「圧力一定」に切り替えて使用することができます。
 ただし、配管や水栓から水漏れしている場合や、長時間連続して水を使う場合は、「標準」をおすすめします。
 また、使用状態や用途に応じて、運転圧力を切り替えることができます。→(P.20)

「標準」モードの運転圧力について

ポンプの起動圧力・停止圧力を定め、ポンプを断続運転させる運転モードです。
 ポンプを断続運転し、自動空気補給装置を作動させ、圧力タンク内へ定期的に空気を補給します。
 運転圧力の設定により、起動圧力・停止圧力が下表のように変わります。

型 式	運転圧力	吸上高さ	押上高さ	標準	
				起動圧力	停止圧力
WT-P125Y	「低」	吸上げ8m～押込み2m	8m	90kPa	140kPa
	「標準」(工場出荷時)		14m	150kPa	200kPa
	「高」	吸上げ3m～押込み2m	18m	190kPa	240kPa
WT-P200Y	「低」	吸上げ8m～押込み2m	14m	150kPa	200kPa
WT-K200Y	「標準」(工場出荷時)	(WT-P300Yは吸上げ7m～押込み2m)	20m	210kPa	260kPa
WT-P300Y	「高」	吸上げ3m～押込み2m	26m	270kPa	320kPa
WT-P400Y	「低」	吸上げ8m～押込み2m	16m	180kPa	240kPa
WT-K750Y	「標準」(工場出荷時)	(WT-K750Yは吸上げ7m～押込み2m)	23m	250kPa	310kPa
	「高」	吸上げ3m～押込み2m	30m	320kPa	380kPa

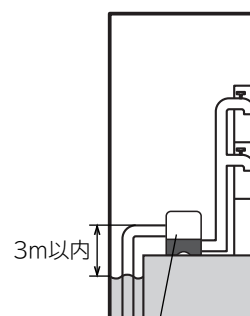
「圧力一定」モードの運転圧力について

ポンプの吐出圧力の変動を「標準」より抑えた運転モードです。
 制御圧力(吐出圧力)は、下表の設定となっております。

型 式	運転圧力	吸上高さ	押上高さ	圧力一定	
				起動圧力	制御圧力
WT-P125Y	「低」	吸上げ8m～押込み2m	11m	120kPa	140kPa
	「標準」(工場出荷時)		17m	180kPa	200kPa
	「高」	吸上げ3m～押込み2m	21m	220kPa	240kPa
WT-P200Y	「低」	吸上げ8m～押込み2m	17m	180kPa	200kPa
WT-K200Y	「標準」(工場出荷時)	(WT-P300Yは吸上げ7m～押込み2m)	23m	240kPa	260kPa
WT-P300Y	「高」	吸上げ3m～押込み2m	29m	300kPa	320kPa
WT-P400Y	「低」	吸上げ8m～押込み2m	19m	200kPa	240kPa
WT-K750Y	「標準」(工場出荷時)	(WT-K750Yは吸上げ7m～押込み2m)	26m	270kPa	310kPa
	「高」	吸上げ3m～押込み2m	32m	340kPa	380kPa

少水量使用時は、起動圧力と制御圧力の範囲で圧力変動する場合があります。

- ご注意**
- 吸上高さが3m以上の場合は、運転圧力「高」で使用できません。ポンプに負荷がかかり、故障や寿命低下する恐れがあります。
 - 吸上高さが3mより浅いとき、または押込揚程(2m以内)のときは、逆止弁の中にあるバルブスプリング(線径：細)を付属品の押しバネ(線径：太)と入れ換えてください。→(P.11)

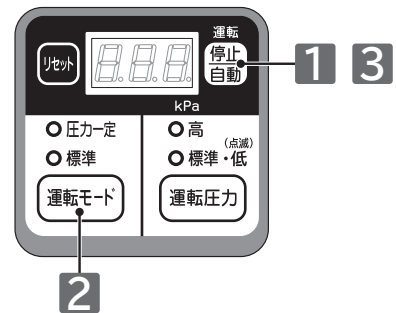


押し上げ専用ポンプとして使用

運転のしかた（続き）

運転モードの切り替えかた

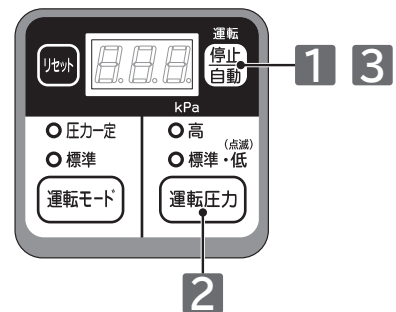
- 1 操作コントローラーの **停止自動** を押し、表示部が **OFF** になっていることを確認する
- 2 **運転モード** を押し、希望のモード（ 標準 または 圧力一定）のランプを点灯させる
運転モード を押しごとにランプは切り替わります。
- 3 **停止自動** を押す
ポンプが通常運転に戻ります。



ご注意 **停止自動** を押す前に **リセット** を押すと、設定前の状態に戻ります。

運転圧力の切り替えかた

- 1 操作コントローラーの **停止自動** を押し、表示部が **OFF** になっていることを確認する
- 2 **運転圧力** を押し、希望のモード（ 標準・低^(点滅) または 高^(点滅)）のランプを点灯させる
運転圧力 を押しごとにランプは切り替わります。



圧力	ランプの状態
高	<input checked="" type="radio"/> 高 (点灯)
標準	<input checked="" type="radio"/> 標準・低 ^(点滅) (点灯)
低	<input checked="" type="radio"/> 標準・低 ^(点滅) (点滅)

- 3 **停止自動** を押す
ポンプが通常運転に戻ります。

ご注意 **停止自動** を押す前に **リセット** を押すと、設定前の状態に戻ります。

角形受水槽との組み合わせについて

WT-P125Y、WT-P200Y、WT-P300Y、WT-K200Y

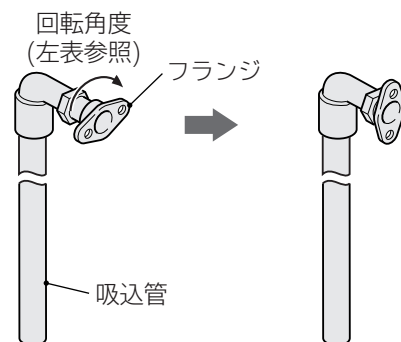
J形以前の角形受水槽を組み合わせてご使用になる際は、下記に注意してください。

角形受水槽との接続について

取り付けの詳細は、角形受水槽(UB-200X、UB-500Xなど)の取扱説明書をご覧ください。

ご注意 角形受水槽に付属の吸込管を接続の際は、右図のようにフランジを回転させてください。

型 式	回転角度
WT-P125Y	30°
WT-P200Y、WT-K200Y、WT-P300Y	90°



断水リレーの接続について

J形以前の角形受水槽に付属の断水リレーを接続する際は、下記サービス部品を購入してください。部品の詳細はサービス部品の説明書、価格はQRコードを読み込んでご確認ください。

型 式	部品名	部品番号	使用数量	QRコード
WT-P125Y	セツゾクキット (125S)	UB-200J 010	1	
WT-P200Y、WT-K200Y、WT-P300Y	セツゾクキット (コネクタUB)	UB-200J 006	1	

運転圧力の切り替えについて

運転圧力は切り替え可能です。→(P.20)

満水警報器の接続について

V形以前の満水警報器を接続する際は、下記サービス部品を購入してください。部品の詳細はサービス部品の説明書、価格はQRコードを読み込んでご確認ください。

部品名	部品番号	使用数量	QRコード
セツゾクハーネス(B-UW)	UB-200W 002	1	



ご注意 満水警報機は单相100V用です。3相200V用のWT-K200Yには満水警報器は接続できません。

除菌器の接続について

- ご注意**
- 他社の除菌器とは結線できません。ポンプコントローラー故障の原因になります。
 - 日立除菌器を下記のサービス部品で結線することができるのはポンプ1台のみです。複数台接続すると、ポンプコントローラーの許容電流(2A)を超え、ポンプコントローラー故障の原因になります。

結線について

除菌器を接続する際は、除菌器の型式に応じて下記サービス部品を購入してください。部品の詳細はサービス部品の説明書、価格はQRコードを読み込んでご確認ください。

	組み合わせ除菌器			
	CS-20J1以前	CS-20NS	CS-30S、CS-30S2、CS-30V、CS-30V2、CS-130W、CS-230W、CS-130X、CS-230X	
			配管接続の場合	ポンプで制御する場合
部品名	コネクタ(セツゾクコネクタ)CS	サービス部品 不要	サービス部品 不要	ハーネス(テイソクウンテン)
部品番号	CS-20J1 002			CS-30S 021
QRコード				

防寒について

暖かい地方でも冬期には寒波急襲によって、ポンプや配管が凍結し破損することがあるため、凍結防止策を行ってください。

※凍結による破損事故については責任を負えません。

警告



ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすい物を入れない
過熱して発火することがあります。

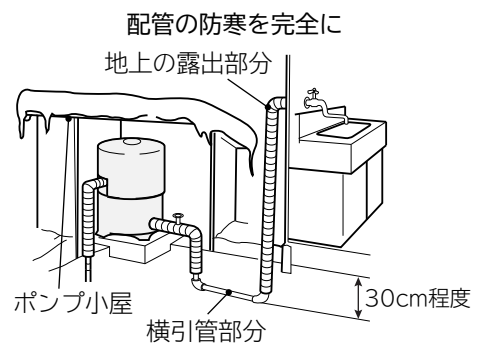
凍結防止対策

配管

- 横引管部分……地中に埋めてください。(30cm程度)
- 地上の露出部分……保温材を使用してください。
寒冷地では市販の水道凍結防止帯をご使用ください。

ポンプ

屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。
小屋は夏に換気ができるようにしてください。



凍結防止運転

- ポンプが停止中であっても、周囲の温度が約3℃以下になると凍結防止運転 **PH** を表示し、自動的にモーターを低速回転させ、ポンプヘッド内の凍結を防止します。
凍結防止運転中であっても、水栓を開いて水を使用すると、通常運転に戻ります。
- 凍結防止の効果は周囲温度が-5℃程度までが目安です。
※凍結防止運転については、「操作コントローラーにこんな表示が出たら」をご覧ください。→(P.24)

お困りのときは(販売店様・工事店様用)

操作コントローラーにこんな表示が出たら

お知らせ表示と内容 (販売店、工事店へ連絡し、お客様は処置しないでください)

お知らせ表示	お知らせ内容		確認するところ
	空運転	井戸の水位低下や吸込管の水落ちにより、空運転が続いた場合に表示し、ポンプが停止します。	井戸の水位や逆止弁の異物詰まり、吸込管の水落ちを確認してください。
	受水槽断水	上水道の断水などにより、受水槽内の水が空になった場合に表示し、ポンプが停止します。 コントローラー内の断水リレー用コネクタ(青)が異常となった場合に表示し、ポンプが停止します。	断水の原因を確認してください。 コントローラー内の断水リレー用コネクタ(青)は差し込まれていますか。
	欠相 (WT-K200Y、 WT-K750Yのみ)	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	電源コネクタの差し込みや電源線断線などを確認してください。
	ポンプヘッド 過昇温	ポンプヘッド内が異常に高温(約60℃以上)となった場合に表示し、ポンプが停止します。(約40℃まで温度が下がると自動復帰します)	<ul style="list-style-type: none"> ●毛布や断熱材でポンプを覆うなどの過剰な防寒をしていませんか。 ●ポンプが高温になる場所(直射日光やエアコンの室外機の近くなど)に設置していませんか。 ●次によりポンプが停止せず、連続運転になっていませんか。 (1)井戸の水位低下や逆止弁の異物詰まり、吸込管の水落ち (2)ポンプや配管からの漏水 (3)羽根車・ケーシングカバー・ケーシングの摩耗 (4)圧力タンクの空気不足 →(P.26)
	不足電圧	異常に低い電源電圧が印加された場合に表示し、ポンプが停止します。	<ul style="list-style-type: none"> ●延長コードは使用していませんか。 ●同じコンセント、またはブレーカーでほかの機器を使用していませんか。
	モーターロック	砂かじりなどによって羽根車がロックしたときに表示し、ポンプが停止します。	ケーシング内の異物や羽根車などの固着がないか確認してください。
	コントローラー 過昇温	コントローラー内が異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。	<ul style="list-style-type: none"> ●モーターとコントローラーの間に取扱説明書などはさみ込みがないか確認してください。 ●毛布や断熱材でポンプを覆うなどの過剰な防寒をしていませんか。
	圧力センサー 断線	圧力センサーからの信号が異常となった場合に表示し、ポンプが停止します。	コントローラー内の圧力センサーのコネクタは差し込まれていますか。
	サーミスター 断線	サーミスターからの信号が異常となった場合に表示し、ポンプが停止します。	コントローラー内のサーミスターのコネクタは差し込まれていますか。
	欠相 (WT-K200Y、 WT-K750Yのみ)	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	電源コネクタの差し込みや電源線断線などを確認してください。
		コントローラー内の断水リレー用コネクタ(青)が異常となった場合に表示し、ポンプが停止します。	コントローラー内の断水リレー用コネクタ(青)は差し込まれていますか。
	凍結防止運転	ポンプが停止中であっても、周囲の温度が約3℃以下になると、凍結防止運転 PH を表示し、自動的にモーターを低速回転させ、ポンプヘッド内の凍結を防止します。凍結防止運転中であっても、水栓を開いて水を使用すると、通常運転に戻ります。	—

症 状	確認するところ	直しかた
ポンプが止まらない	圧力タンク内の水が満水近く(空気不足)になっていませんか。	圧力タンクの水抜きをしてください。→(P.26)
	水栓、配管から漏水していませんか。 漏水チェック機能で確認してください。→(P.26)	配管を修理してください。
	ポンプヘッド部が摩耗、または変形していませんか。 漏水チェック機能で確認してください。→(P.26)	ポンプヘッド部の部品を交換してください。
	水位を確認してください。→(P.9)	規定の吸上高さより深い場合は、機種を変更してください。
	 表示が出ていませんか。	凍結防止運転を行っています。 異常ではありません。 →(P.24)
ポンプが回らない	単相100V用ポンプ：電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	3相200V用ポンプ：電源線は電源ブレーカーに接続されていますか。	電源線を電源ブレーカーに接続してください。
	ブレーカー・漏電遮断器が切れていませんか。	ブレーカー・漏電遮断器を確認してください。
	お知らせ表示が出ていませんか。→(P.24)	お買い上げの販売店、または工事店へご連絡ください。
使用していないのにポンプが起動する	水栓、配管から漏水していませんか。 漏水チェック機能で確認してください。→(P.26)	配管を修理してください。
モーターは回るが揚水しない	水位、配管の長さを確認してください。→(P.9)	配管を修理、または吸上げ高さの仕様内で吸込管を延長してください。
	吸込管から空気を吸い込んでいませんか。 吸込管の各つなぎ目部を点検・確認してください。	配管を修理してください。
吐出圧力表示・お知らせ表示が点灯しない	 表示になっていませんか。 ↑ ↑ 点が2つ表示している状態	消費電力を抑えるため、吐出圧力表示はポンプ停止の約3分後に消灯して  表示になります。 異常ではありません。→(P.8)

お困りのときは (続き)

漏水を確認するときは(強制運転による漏水チェック機能)

- 1 操作コントローラーの **停止自動** を押し、表示部が **OFF** になっていることを確認する
- 2 水栓を開き、水を出してポンプ内の圧力を逃がす
- 3 水栓から水が出なくなることを確認し、水栓を閉じる
- 4 表示部が **OFF** になっている状態で、**停止自動** を押し続ける

ポンプが強制運転を開始しますので **停止自動** を押し続けてください。

圧力値が強制運転の停止圧力値以上に上昇すると、ポンプは自動停止しますので、

停止自動 を離してください。

ポンプヘッド部が摩耗、または変形している場合は強制運転停止圧力値まで上昇しない場合があります。

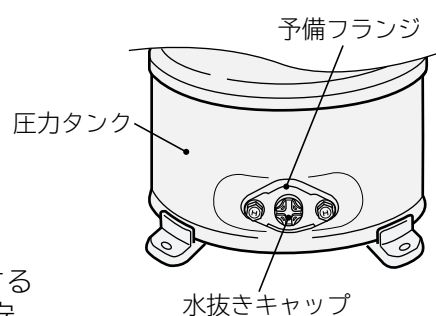
型 式	運転圧力	強制運転停止圧力
WT-P125Y	「低」「標準」(工場出荷時)	約240kPa
	「高」	約290kPa
WT-P200Y WT-K200Y WT-P300Y	「低」「標準」(工場出荷時)	約300kPa
	「高」	約360kPa
WT-P400Y WT-K750Y	「低」「標準」(工場出荷時)	約370kPa
	「高」	約420kPa

※ 4 の状態(ポンプ停止)で、圧力値が低下する場合は、水栓・配管の漏水を確認してください。

圧力タンク内の水を抜くときは

- 1 操作コントローラーの **停止自動** を押し、表示部が **OFF** になっていることを確認する
- 2 電源プラグをコンセントから抜く、または、ブレーカーを切る
- 3 水栓を開き、水を出してポンプ内の圧力を逃がす
- 4 水栓から水が出なくなることを確認し、水栓を閉じる
- 5 圧力タンクの予備フランジの水抜きキャップを外して、圧力タンクの水抜きをする

押し込揚程や吸上高さが3mより浅いとき、または長時間連続運転をする場合は、圧力タンク内の空気不足を解消するために、月に一度を目安に上記手順で圧力タンク内の水を抜いてください。



消耗部品について

下表の部品は消耗部品です。交換時期の目安を参考に、部品の交換をおすすめします。

部品名	交換時期の目安	消耗品に起こること
メカニカルシール	累積運転時間 約3,000時間	漏水、揚水しない、ポンプが止まらない など
パッキン	分解・点検時	漏水、揚水しない、ポンプが止まらない など
羽根車	—	ポンプが止まらない など
ケーシングカバー	—	ポンプが止まらない など

保証とアフターサービス

保証書(裏表紙)

この製品は保証書付きです。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

なお、食品や動植物の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。

(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。

(ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障および損傷。

(ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両(車載用を除く)、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→(P.28)にお問い合わせください。

転居される時

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼される時は

24、25ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

出張修理

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

※修理点検でポンプ以外に原因があった場合は、保証期間内

でも有料になることがあります。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	浅井戸用自動ポンプ
型式	ダブルユーティリー ピー ワイ WT-P200Yなど
製品番号	1000001など
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

保証とアフターサービス (続き)

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合は、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

- 車両、船舶に搭載して使用された場合。
- 業務用使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換が必要になることがあります。

愛情点検

長年ご使用のポンプの点検を！〔2～3年に一度点検を依頼してください(有料)〕



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 運転するとブレーカーや漏電遮断器が作動する。
- ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。
- 水を使用していないのに、ポンプが運転する。
- コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れがする。(ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など)
- 焦げ臭い“におい”がする。
- 触るとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切ってから販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は、下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-3121-19
携帯電話 050-355-1109 (有料)
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30 (月～土)
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00～18:00(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。

URL <https://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiwase.html> または

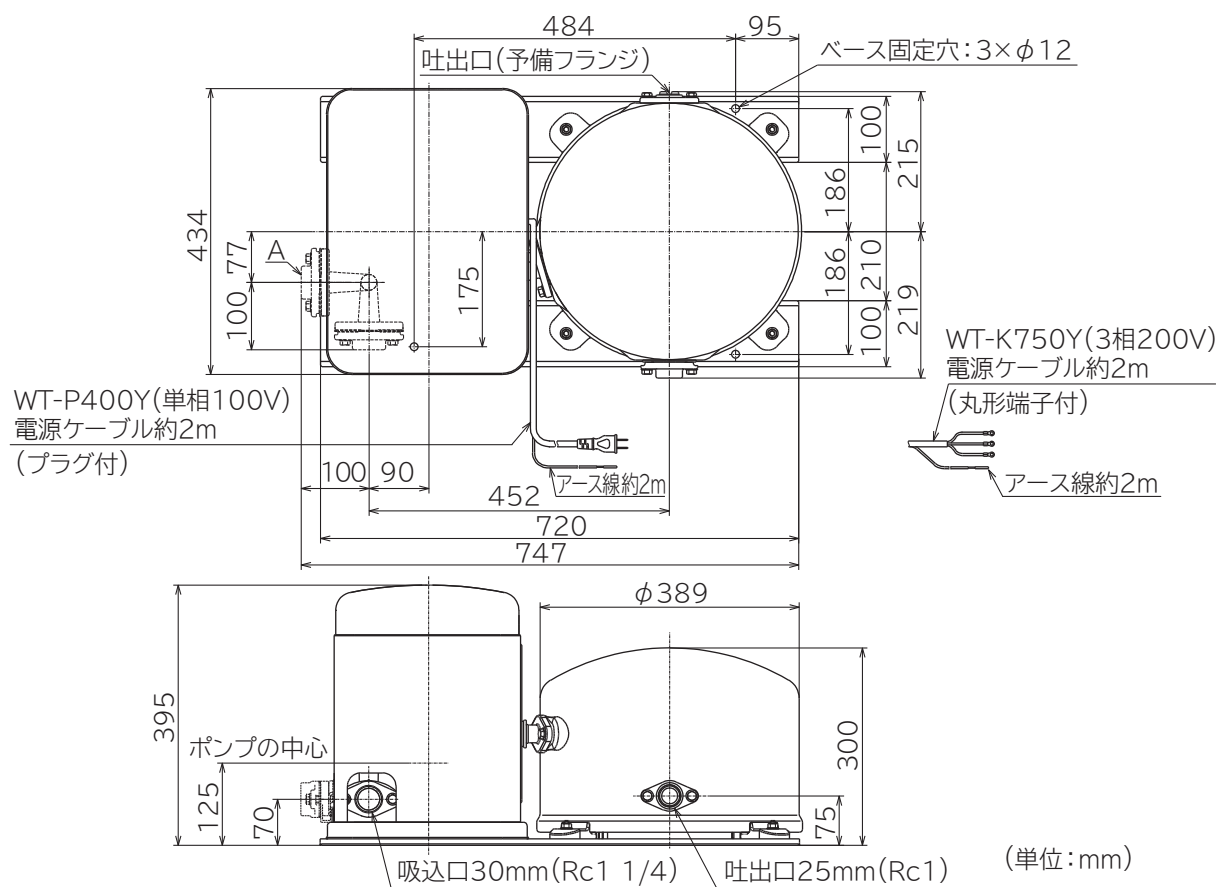
「お問い合わせ」ページの ボタンより入力画面にお進みください。

(注) 対象製品をご確認のうえお申込みください。

- 「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

仕様 (続き)

WT-P400Y、WT-K750Y



※吸込み方向が「A」に替えられます。

WT-P125Y・WT-P200Y・WT-K200Y

型 式			WT-P125Y			WT-P200Y			WT-K200Y		
相・定格電圧			単相100V			単相100V			3相200V		
モーター定格出力			125W			200W			200W		
定格消費電力			400W			440W			440W		
定格周波数			50-60Hz								
制御方式			インバーター制御								
			低	標準	高	低	標準	高	低	標準	高
運転圧力	標準	起動圧力	90kPa	150kPa	190kPa	150kPa	210kPa	270kPa	150kPa	210kPa	270kPa
		停止圧力	140kPa	200kPa	240kPa	200kPa	260kPa	320kPa	200kPa	260kPa	320kPa
	圧力一定	起動圧力	120kPa	180kPa	220kPa	180kPa	240kPa	300kPa	180kPa	240kPa	300kPa
		制御圧力	140kPa	200kPa	240kPa	200kPa	260kPa	320kPa	200kPa	260kPa	320kPa
揚水量(L/min) (全揚程12m時)		吸上高さ 8m時	18L/分	22L/分	24L/分	28L/分	24L/分	28L/分			
		吸上高さ 3m時	22L/分	28L/分	28L/分	35L/分	28L/分	35L/分			
吸上高さ			8m		3m	8m		3m	8m		3m
押上高さ	運転モード	標準	8m	14m	18m	14m	20m	26m	14m	20m	26m
		圧力一定	11m	17m	21m	17m	23m	29m	17m	23m	29m
フランジ口径	吸込管		20mm			25mm			25mm		
	吐出管		20mm			25mm			25mm		
質量			13kg			14kg			14kg		

WT-P300Y・WT-P400Y・WT-K750Y

型 式			WT-P300Y			WT-P400Y			WT-K750Y		
相・定格電圧			単相100V			単相100V			3相200V		
モーター定格出力			300W			400W			750W		
定格消費電力			470W			860W			1150W		
定格周波数			50-60Hz								
制御方式			インバーター制御								
			低	標準	高	低	標準	高	低	標準	高
運転圧力	標準	起動圧力	150kPa	210kPa	270kPa	180kPa	250kPa	320kPa	180kPa	250kPa	320kPa
		停止圧力	200kPa	260kPa	320kPa	240kPa	310kPa	380kPa	240kPa	310kPa	380kPa
	圧力一定	起動圧力	180kPa	240kPa	300kPa	200kPa	270kPa	340kPa	200kPa	270kPa	340kPa
		制御圧力	200kPa	260kPa	320kPa	240kPa	310kPa	380kPa	240kPa	310kPa	380kPa
揚水量(L/min) (全揚程12m時)		吸上高さ 8m時	28L/分 (吸上高さ7m時)	33L/分 (吸上高さ7m時)	35L/分	42L/分	57L/分 (吸上高さ7m時)	64L/分 (吸上高さ7m時)			
		吸上高さ 3m時	32L/分	39L/分	-		-				
吸上高さ			7m		3m	8m		3m	7m		3m
押上高さ	運転モード	標準	14m	20m	26m	16m	23m	30m	16m	23m	30m
		圧力一定	17m	23m	29m	19m	26m	32m	19m	26m	32m
フランジ口径	吸込管		25mm			30mm			30mm		
	吐出管		25mm			25mm			25mm		
質量			14kg			26kg			26kg		

日立浅井戸用ポンプ 保証書

出張修理

※型式	
※お買い上げ日	年 月 日
保証期間 (お買い上げ日から)	本体：1年
※お客様	お名前 様
	ご住所 〒
	電話
※販売店	住所・店名
	電話

※印欄に記入のない場合は無効となりますからご確認ください。記入のない場合、レシートまたはご購入を証明するものが代用となりますので、本保証書とともに大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ)保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→(P.28)にご連絡ください。
(ハ)この製品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書を必ずご提示ください。

2. ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. 贈り物でいただいたものの修理などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理のご依頼にできない場合には、「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→(P.28)にご相談ください。
4. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
5. 保証期間内でも次のような場合には有料にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常水質、異常電圧、異常水圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用)に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6. 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
7. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
8. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→(P.28)にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の写しの個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。